

A-33 電子照射による卵白の性状変化

名古屋市立女短大 ○三上 稲子
橋本 清子

1. 電子照射によって卵白のもつトリプシン阻害性は減少し、遂には卵白は凝固するが、電子照射による卵白性状の変化、とくにオボムコイドの変化について検討を加えるために、新鮮卵白、加温卵白、電子照射卵白について次のような実験を行なった。

2. ディスク泳動によって卵白タンパク割合の変化を考察するとともに、それぞれの卵白から、Rhodes の CMセルロースクロマトグラフィーならびに Warner の塩析法によってオボムコイドを調製し、ディスク泳動によってその割合変化を観察した。

また、調製したオボムコイドについて CMセルロースカラムを使い、pH 3.8, pH 4.0, pH 4.17, pH 4.28, pH 4.41 の Stepwise ならびに pH 3.5~pH 5.0 の Gradient elution を行なって再分画し、えられた各割合について、ディスク泳動を行なうとともに、アミノ酸ならびにアミノ糖の分析を行ない、電子照射によるオボムコイドのトリプシン阻害性減少に伴う性状変化について検討を加えたので報告する。